



ごあいさつ

皆さまの日頃からのご支援に、心より感謝申し上げます。

初当選以来4期16年間、「一人の人に全力!」をモットーに、区政と皆さまのパイプ役として、議員活動に取り組ませていただいております。

皆さまの「声」こそ未来を拓く力、との思いで働かせていただき中、これまでに5000件を超える区民相談をいただき、多くの“現場の声”から、一つ一つの政策を提言させていただきました。

その結果、全国でも先駆的な空き家対策の導入や防災・減災対策など、多くの施策の実現を推進することができました。青少年の育成支援にも力を注ぎ、今年4月には、自習や演劇、バンドの練習など、中高生の

活動の場となる専用施設「b-lab(文京区青少年プラザ)」がオープンします。

少子高齢社会の進展や、気象の変化を要因とする災害被害など、文京区を取り巻く課題は山積しておりますが、引き続き皆さまのお力をお借りしながら、笑顔あふれる文京区の構築のため、新たな取り組みに挑戦してまいります。

今後とも一層のご指導・ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

文京区議会議員  
岡崎よしあき



「b-lab」が併設される新教育センター完成予想図



内部討議資料

区政ニュース 1

## 自販機設置の入札で区の新たな収入を確保! 初入札額がこれまでの100倍に!!

文京区では、平成24年8月から、区有施設の飲料用自動販売機の設置について、一般競争入札を導入しています。

初入札となった文京シビックセンター内の自販機3件の入札価格は、591万996円(年間税抜き)に。いままで6万円程度の年間使用料の収入から、約100倍の収入へと大幅アップしました。これまで12件の入札が行われ、合計800万円以上の区の新たな収入が確保できました。



この背景の一つに、岡崎よしあきが区議会本会議で新たな歳入の確保について提案するなどの粘り強い努力がありました。

なお、区と設置事業者は災害協定を結んでおり、災害時に自動販売機内の販売品を無償提供(フリーベンド方式)することとなっています。

区政ニュース 2

## 「通年議会」導入で、行政課題に迅速に対応

文京区議会では、平成26年5月から、会期をほぼ1年間とする「通年議会」を導入しています。通年議会とすることで、議長が必要に応じて本会議を随時再開できるため、突発的な災害や、緊急を要する行政課題等の発生にも迅速に対応できるようになりました。

議会改革の取組をお知らせします											
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
定例会	定例会	定例会	定例会	定例会	定例会	定例会	定例会	定例会	定例会	定例会	定例会
臨時議会	臨時議会	臨時議会	臨時議会	臨時議会	臨時議会	臨時議会	臨時議会	臨時議会	臨時議会	臨時議会	臨時議会

通年議会の導入により、5月15日の開会から、5月15日の閉会まで、1年間の会期を確保し、行政課題の迅速な対応を図ります。

(ぶんきょう区議会だより第170号より)

同区議会では平成24年6月、議会活性化等について協議するため、「今後の議会運営に係る懇談会」を設置。副議長(平成25年6月より、岡崎よしあき)を座長とする同懇談会は、交渉会派(3人以上の会派)の幹事長で構成され、通年議会の導入についても協議を重ねてきました。

その結果、平成26年第1回定例会において、関係条例の改正および実施要綱の制定を行い、通年議会が実現しました。

### 岡崎よしあきの重点政策

安全・安心の街づくりに全力!

- 防犯・防災機能の強化
- 地域コミュニティの充実

地域の特性を生かした街づくりに全力!

- 商店街の振興と活性化
- 観光振興の充実

人にやさしい街づくりに全力!

- 認知症支援の充実
- 住み慣れた地域で医療・介護・住宅・生活支援などのサービスを一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」の構築

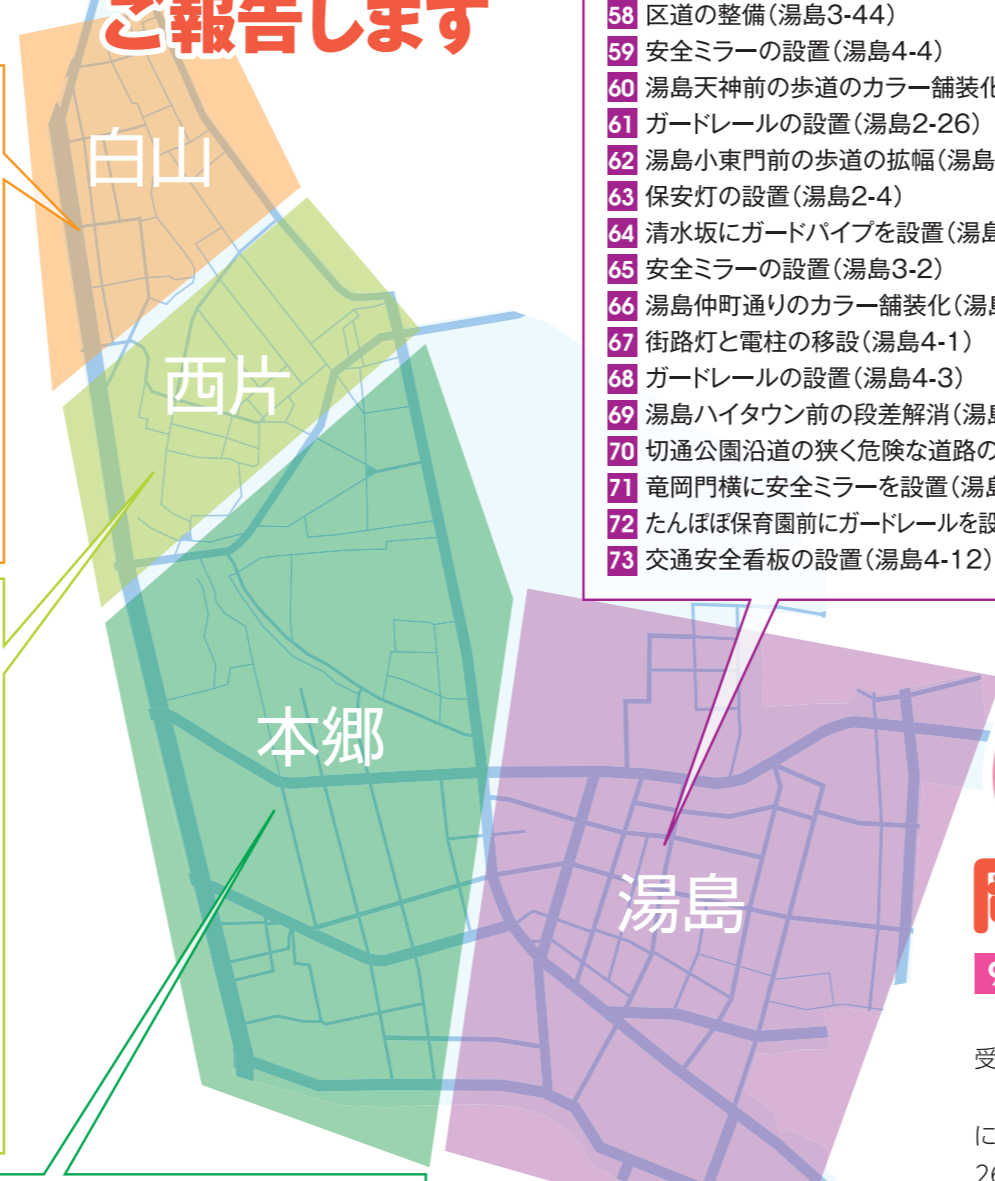
心豊かな教育・文化の街づくりに全力!

- 少子化に対応した新しい教育への転換
- 活字文化・スポーツの振興

内部討議資料



# 岡崎よしあきの地域実績の一部を ご報告します



- ### 白山
- 1 見通しの悪い中央分離帯の植え込みの整備(白山1-6)
  - 2 古い階段の整備(白山1-16)
  - 3 歩道の縁石につまずかぬよう自動点滅器を設置(白山1-17)
  - 4 埋め込み式自動点滅器の設置(白山1-2)
  - 5 安全ミラーの設置(白山1-10)
  - 6 区道の整備(白山1-25)
  - 7 私道に街灯を設置(白山1-30)
  - 8 カラスの巣の除去(白山1-31)
  - 9 「交通安全」の路面塗装(白山1-36)
  - 10 下水道の整備(白山1-37)
  - 11 私道入口に「この先行き止まり」の看板設置(白山2-18)

- ### 西片
- 12 区道の改修(西片1-1)
  - 13 ごみ集積所の整備(西片1丁目)
  - 14 言問通りに街路灯を設置(西片1-1)
  - 15 交通安全看板の設置(西片1-1)
  - 16 石坂の路面塗装(西片1-3)
  - 17 見通しの悪い中央分離帯の植え込みの整備(西片1-17)
  - 18 安全ミラーの設置(西片2-4)
  - 19 古い階段の整備(西片2-7)
  - 20 時速制限の路面塗装と注意書き看板の設置(西片2-13)
  - 21 歩道の段差解消(西片2-15)
  - 22 私道に街灯を設置(西片2-15)
  - 23 安全ミラーの設置(西片2-24)
  - 24 私道に街灯を設置(西片2-24)

- ### 本郷
- 25 区道の整備(本郷1-24)
  - 26 区道の整備(本郷2-19)
  - 27 区道の整備(本郷3-24)
  - 28 清和公園の階段に滑り止めと手すりを設置(本郷4-19)
  - 29 言問通りの街路樹の整備(本郷4-27)
  - 30 安全ミラーの設置(本郷4-37)
  - 31 歩道の整備(本郷5-1)
  - 32 私道の整備(本郷5-23)
  - 33 区道の整備(本郷6-19)
  - 34 歩道の整備(本郷6-24)
  - 35 安全ミラーの設置(本郷6-25)
  - 36 壱岐坂の中央線にバイルを設置(本郷1-1)
  - 37 安全ミラーの設置(本郷1-12)
  - 38 壱岐坂下の中央分離帯に手すりを設置(本郷1-22)
  - 39 春日町交差点の段差解消(本郷1-35)

- 40 本郷給水所公苑の段差解消(本郷2-7)
- 41 壱岐坂の街路樹の整備(本郷2-11、21)
- 42 安全ミラーの設置(本郷2-16、19、30、31)
- 43 区道の段差解消(本郷2-27)
- 44 区道の段差解消(本郷2-33)
- 45 ガードレールの設置(本郷3-3)
- 46 区道の段差解消(本郷3-4)
- 47 サッカー通りの街灯を新設(本郷3-10、11、12、22、23)
- 48 区道の段差解消(本郷3-28)
- 49 本郷三丁目駅に駐輪場を設置(本郷3-40)
- 50 菊坂下の歩道の整備(本郷4-27)
- 51 下水道の整備(本郷4-30)
- 52 擁壁の安全点検(本郷4-36)
- 53 歩道の陥没解消(本郷5-1)
- 54 街路樹の剪定(本郷5-1)

## 湯島

- 55 私道下の下水道の改修(湯島2-7)
- 56 ごみ集積所の整備(湯島2-9)
- 57 三組坂に転落防止の安全パイプを設置(湯島3-15)
- 58 区道の整備(湯島3-44)
- 59 安全ミラーの設置(湯島4-4)
- 60 湯島天神前の歩道のカラー舗装化(湯島2-2~33)
- 61 ガードレールの設置(湯島2-26)
- 62 湯島小東門前の歩道の拡幅(湯島2-8)
- 63 保安灯の設置(湯島2-4)
- 64 清水坂にガードパイプを設置(湯島2-8)
- 65 安全ミラーの設置(湯島3-2)
- 66 湯島仲町通りのカラー舗装化(湯島3-44)
- 67 街路灯と電柱の移設(湯島4-1)
- 68 ガードレールの設置(湯島4-3)
- 69 湯島ハイタウン前の段差解消(湯島4-6)
- 70 切通公園沿道の狭く危険な道路の拡幅(湯島4-6)
- 71 竜岡門横に安全ミラーを設置(湯島4-9)
- 72 たんぼ保育園前にガードレールを設置(湯島4-11、12)
- 73 交通安全看板の設置(湯島4-12)



## 岡崎よしあきの実績エピソード

### 97 平成26年度から文京区で「空き家等対策事業」がスタート

老朽化して危険な状態となっている空き家等について、所有者の同意のもと文京区の負担で建物の除去を行い、無償で土地を借り受けてポケットパークや駐輪場など公共目的に使用するものです。また、継続して使用が可能な空き家等は、有効活用を図ります。この事業は、23区でも初めての先駆的なもの。東日本大震災の折、空き家の外壁が路上に落下し、しばらくそのまま放置されたままになりました。町会の役員の方から相談を受けた岡崎よしあきは、さっそく本会議質問で空き家対策を取り上げ、事業化を実現。平成26年度は、区内2カ所で具体的な取り組みが実施されました。

### 98 中等度難聴児への支援が実現

文京区では、身体障害者手帳交付の対象にならない中等度難聴児の補聴器購入費用の半額助成が、平成25年秋からスタート。岡崎よしあきは、中等度の難聴を抱えた子どもの保護者から相談を受け、区議会に質問するなど、粘り強く推進しました。

### 99 妊婦健康診査時にHTLV-1抗体検査を導入

ヒト白血ウイルス-1型(HTLV-1)は、成人T細胞白血病(ATL)やHTLV-1関連脊髄症(HAM)を引き起こすウイルスで、主に母乳等を介して母子感染するとされています。授乳方法を工夫することによって赤ちゃんに感染する可能性を低くすることができるため、岡崎よしあきは妊婦検診時のHTLV-1抗体検査導入を本会議等で訴えました。前回の区議選の公約としてもお約束し、平成23年度に実現しました。

### 100 中高層マンションの防災対策を推進

中高層マンションの防災対策に特化した助成事業が平成25年に実現しました。防災訓練の実施や備蓄品の購入、エレベーターに閉じこめられた時の対策(保存食、飲料水、簡易トイレ、ラジオ等をエレベーター内に備蓄)などに活用できます。岡崎よしあきは、これに加えて、分譲マンションの耐震診断費用や耐震改修設計費用、改修工事費用の助成の拡大・充実にも取り組んでいます。あと一歩のところまで来ています。



清和公園の階段に滑り止めと手すりを設置



実地調査を通じて空き家対策を実現



子育て応援メールマガジン



コミュニティバス「Bーぐる」